**第5課　祈りとは何か？ 20.2.16**

◎ 賛美 : 韓日 486番　◎ 使徒信条

◎ アイスブレーキング

自分が普段、考えている‘祈り’の意味が何であるのか一行で書いてみた後にその理由を話してください。

◎みことばの中へ

**テーマのみことば**

イエスは、苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。汗が血のしずくのように地に落ちた。(ルカ 22章 44節).

**みことばを広げよう**

**祈りの定義**

祈りは神様と対話し、疎通することです。したがって私たちは祈りを通して私たちの求めることを神様に話し、また神様が私たちに語られることを聞くことができなければなりません(詩編34：4,11)。

正しい祈りをするためには祈りの対象であられる神様がどのようなお方であるのか知ることが重要です。神様は全知全能であり、私たちを愛されて私たちの祈りに答えられることを喜ばれるお方です。私たちが祈ることができるのはイエス様のおかげです。イエス様が十字架で私たちの罪を解決してくださったので私たちはイエス様の御名によって神様に祈ることができるようになったのです。

また私たちは聖霊様の助けを通して神様のみこころにふさわしい祈りを捧げることができます。従って私たちは祈りを聞かれる神様、祈りの場に進み出るようにしてくださったイエス様、私たちの祈りを助けられる聖霊様をいつでも覚えて、感謝しなければなりません。

Q : 神様の子供たちが神様に捧げる‘祈り’とは何でしょうか？

**祈りの本質**

一番目、祈りは‘神様との霊的交わり’です。人々が交わりを通して心を分かち合い、親しくなるように祈りを通して神様との親密感を形成することができます。祈る時、私たちに向かう神様のみこころを知るようになり、神様の心を感じることができます。

二番目、祈りは‘霊的な呼吸’です。神様の被造物である人間は神様からだけいのちを得ることができます(創世記2：7)。人々が息をしながら肉体のいのちを保存するように、聖徒たちは霊的な呼吸である祈りを通して神様から霊的生命力を得ることができます。

三番目、祈りは‘問題解決の鍵’です。世を生きていく間、私たちは大きく小さな問題にぶつかります。しかしこのような問題を完全に解決することができるお方はただ創造主である神様お一方しかいません。祈りはこのような神様の力が私たちの暮らしの中に現れるようにする通路です。

四番目、祈りは‘霊性訓練の核心’です。私たちがイエス様を信じて救いを受け神様の子供になったとしても、一生にわたる霊的訓練を通して私たちの信仰が成長しなければなりません。祈りはみことばと共にこのような訓練の核心的要素です(Ⅰテモテ4：5)。私たちが祈る時、神様のみことばに従順するようになり、聖なる信仰人として成長することができます。

Q : 神様に捧げる祈りの本質の4つは何でしょうか？

**祈りの姿勢**

一番目、信仰を持って祈らなければなりません。信仰は信仰生活の出発点であり基本要件です。特に祈る時に信仰は必須的な要素です。私たちは祈る時、神様が私たちの祈りを聞かれ、答えられるということを信頼しなければなりません。

二番目、最後まで忍耐して祈らなければなりません。神様は主のみこころにふさわしい祈りならば、必ず答えられます。しかし私たちが願う時にいつでも答えが来るわけではありません。神様の答えは神様の時に来ます。したがって神様が答えられることを信じて最後まで忍耐して祈らなければなりません。

三番目、綺麗な心で祈らなければなりません。神様は祈る人の心を見られるお方です。したがって私たちは祈る時、まず徹底的に悔い改めで自分を振り返らなければなりません。また自分の貪欲を成すためではない、神様の栄光のための祈りを捧げなければなりません。神様のみこころに叶う正しい祈りを捧げる時、答えを受けることができます(ヤコブ4：3)。

四番目、傷ついた心の祈りを捧げなければなりません。私たちみなはイエス・キリストの十字架なしには決して神様の前に立つことができず、神様の助けなしには完全な暮らしを生きていくことのできない罪人です。したがって神様は輝かしい祈りよりも、自分の弱さを認め、謙遜で正直に捧げる祈りを、より喜ばれます(ルカ18；13)。

Q : 神様に祈りを捧げる時、私たちが持つべき姿勢はどのような姿勢でしょうか？

**◎暮らしの中へ**

1.祈りの本質4つの中で今の自分の暮らしの中に最も必要なものは何であり、その理由は何であるのか話してみてください。

- 祈りは最初に、 ‘神様との霊的交わり’であり、二つ目に, ‘霊的な呼吸’であり, 三つ目に, ‘問題解決の鍵’であり, 四つ目に, ‘霊性訓練の核心’です。

2. 祈る時、祈りの内容だけでなく、祈る人の姿勢も重要です。祈る時に変化が必要な自分の態度は何であるのか振り返り、話してみてください。

- 祈る人は一番目に、信仰を持って祈らなければなりません。二番目に最後まで忍耐して祈らなければなりません。三番目に、聖い心で祈らなければなりません。四番目に、傷ついた心の祈りを捧げなければなりません。このような内容に照らし合わせて自分の祈りを振り返り、点検する時間を持ちましょう。

**◎決断と祈り**

**決断の告白**

· 毎日、神様と交わり、祈ることに力を尽くすことを決断します。

· 祈る時、答えが遅くても落ち込まずに忍耐して祈ることを決断します。

**祈り**

祈りの課題を分かち合い、今日のみことばを考えて、伝道対象者のために声を出して祈りましょう。

**今日の祈り**

神様、祈りを通して神様と交わり、私たちの必要を求めることができるようにしてくださり感謝します。神様に進み出る時、信仰と聖い心を持って最後まで忍耐して祈ることができるように導いてください。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

**◎主の祈りで終える**

**関連聖句**

·何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるということ、これこそ神に対する私たちの確信です。(第一ヨハネ5章14節).

· 何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。(ピリピ 4章 6節).